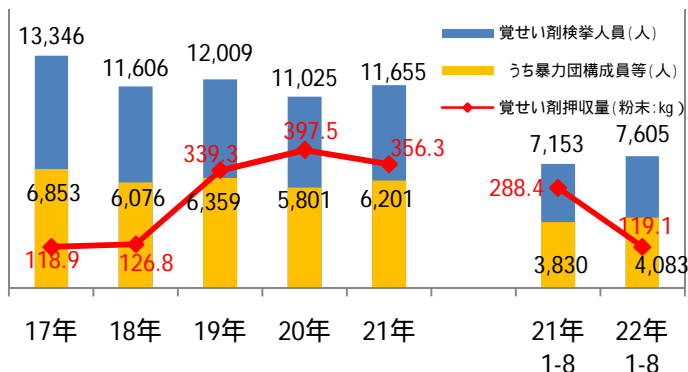


1 覚せい剤事犯

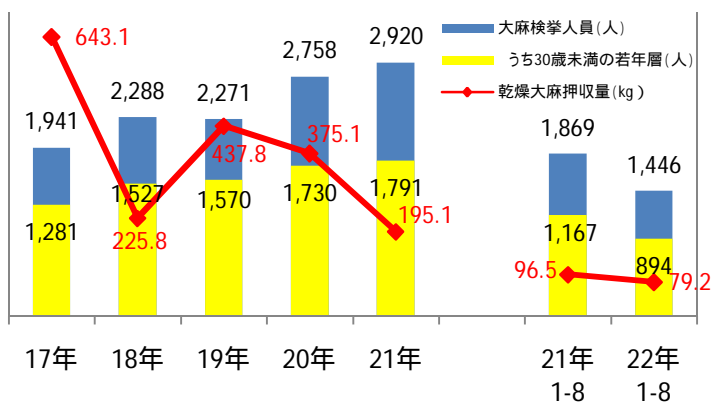


平成22年の状況

検挙人員は増加(+452人+6.3%)
しており、検挙人員の約53.7%を暴力団
構成員等が占めている。

覚せい剤の押収量は大幅に減少
(-169.3kg-58.7%)している。

2 大麻事犯

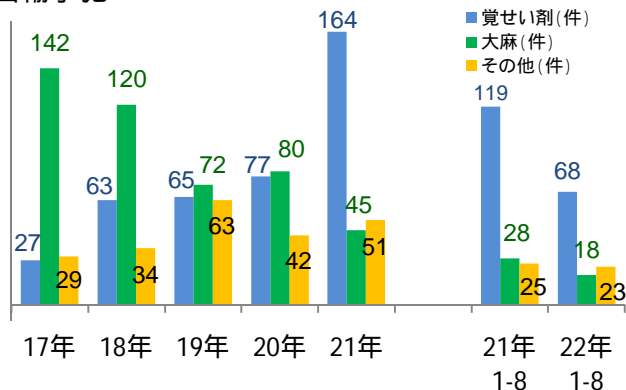


平成22年の状況

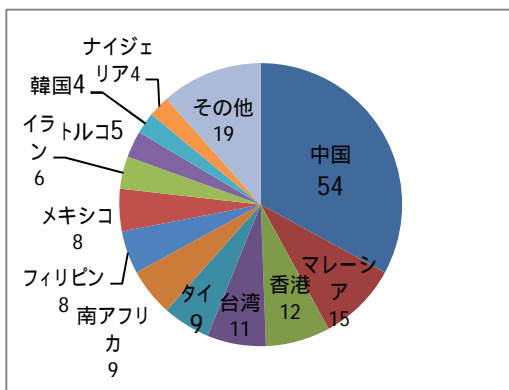
検挙人員は減少(-423人-22.6%)
しており、検挙人員の約61.8%を年齢
30歳未満の若年層が占めている。

乾燥大麻の押収量は減少(-17.3
kg-17.9%)している。

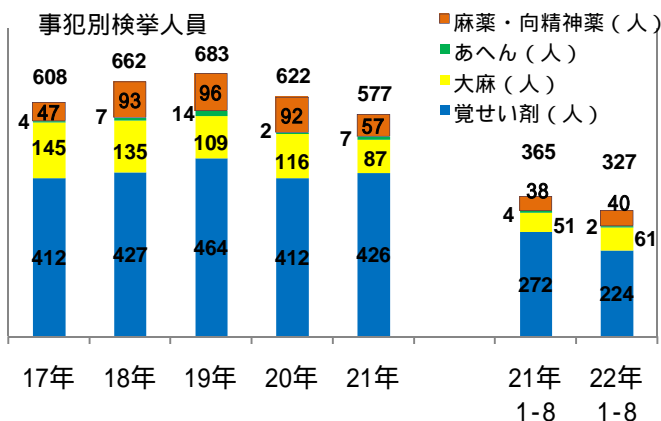
3 密輸事犯



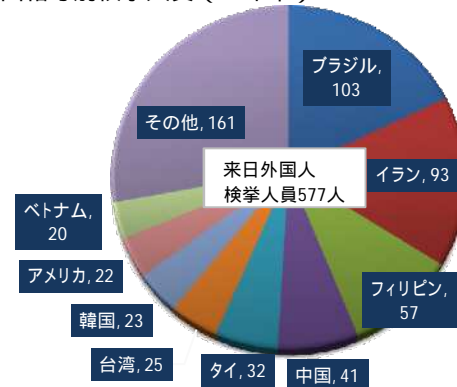
覚せい剤密輸入における仕出し国(21年中)



4 来日外国人薬物事犯



国籍等別検挙人員(21年中)



(平成22年の数値は暫定値である)